

② パネルディスカッション 『これからの東北を支える担い手づくり』

【パネルディスカッション】

『これからの東北を支える担い手づくり』をテーマに、中村 志郎氏（特定非営利活動法人アスヘノキボウ 人材事業責任者）、杉田 剛氏（仙台市 経済局 産業政策部 地域産業支援課 課長）、油井 元太郎氏（MORIUMIUS 代表）の宮城県内で活躍する3名をパネリストに、地域の共創に取り組む信岡 良亮氏（株式会社アスノオト 代表取締役）をモデレーターに迎え、東北で続く新たなチャレンジや取組を継続的に続けていくための仕組みづくりについて議論していただきました。

□ パネリスト



中村 志郎 氏
(特定非営利活動法人
アスヘノキボウ
人材事業責任者)



杉田 剛 氏
(仙台市 経済局 産業政策部
地域産業支援課 課長)



油井 元太郎 氏
(MORIUMIUS 代表)



信岡 良亮 氏
(株式会社アスノオト
代表取締役)

□ モデレーター

冒頭、パネリストからそれぞれの取組について紹介いただきました。中村様からは特定非営利活動法人アスヘノキボウの、女川町における活動人口の創出に向けたまちづくりと人・組織づくりの取組について、杉田様からは仙台市の、東北全体の発展に目を向けた起業しやすい仕組み作りや起業家向けの活動について、油井様からは、雄勝町の滞在施設「モリウミアス」でのサステナブルな暮らしを体験するプログラムについて発表がありました。

ディスカッションの中では、モデレータからは、自身の島根県海士町での経験も踏まえ、「人集め」「チームづくり」「仕組みづくり」の3つのフェーズがある中での現状認識や現在の課題について問題提起がありました。

パネリストからは、取組のフェーズの変化として、震災からの復旧から、地域内外の人が目を向ける地域のブランディング段階へとフェーズが移っている中、現在はそのチームづくりの段階にあることや、チームで動く利点として、それぞれの得意分野を伸ばすことができること、取組の全体が見えるから、モチベーションにもつながっていることなどが挙げられました。

また、「これからの東北を担う人材づくり」に向けたこれからの展望として、パネリストから、人材を育てられる人材（ロールモデル）を育てていくことや、移住だけでなくファンづくりも含めて新しい人材が集まってくるきっかけをつくること、複雑な地域課題に対して、役割分担を越えて取り組んでいくことなどが語られました。

□ 会場の様子



～ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました～

お問い合わせ

※当交流会の事務局運営については、株式会社JTBコーポレートセールスが受託しております。

新しい東北

検索

いいね!

「新しい東北」交流会事務局（株式会社JTBコーポレートセールス 東京中央支店内） 担当 西田、安海（あずみ）

E-mail: nt-info@bwt.jtb.jp

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>

TEL: 03-6737-9292（平日9:30～17:30）※土曜、日曜、祝日 は休業となります。

Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>

主催:



官民連携推進協議会（事務局：復興庁）



復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ 復興・創生へ